

令和7年7月2日（水）【秩父市長 職員向けメッセージ】

皆さま、おはようございます。市長の清野和彦です。

7月を迎え、今年も後半に入りました。日々、市民の皆さまのために誠実に業務に取り組んでくださっていること、心より感謝申し上げます。

本日は、私自身の市政運営の姿勢について、改めてお話しをさせていただきたいと思います。

私は、「スピード」と「実行力」を重視しています。特に、今この瞬間に必要なだと判断したことは、迷わず決断し、すぐに動く。その「即断即決」の姿勢を大切にしています。

ただし、それは「拙速に進める」という意味ではありません。

重要なのは、即断すべきことと、慎重に検討すべきことの見極めです。

たとえば、物価高騰対策や災害対応といった緊急の課題には、タイミングを逃さないスピードが求められるでしょう。一方で、将来の秩父のかたちを決めるような制度設計や大型事業には、中長期的な視点からの丁寧な検討が当然、不可欠となります。

私は、「まず動く」ことを重視しつつも、走りながら見直す柔軟さを持ちたいと考えています。最初から完璧を目指すのではなく、現場の声や状況の変化を受け止めながら、修正し改善していく。それが実効性のある真に市民の皆さまの幸せを実現する秩父市政につながると信じています。

だからこそ、職員の皆さん一人ひとりの現場での判断力と行動力が、とても大切となります。皆さんの知恵と経験を、ぜひ私たちの前進力に変えていただきたいと思います。

「まずやってみよう」「考えながら進めよう」——そんな空気を、秩父市役所全体に育てていきましょう。

同志として、共に力を合わせ、市民の皆さまに信頼される秩父市政を築いていければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

また、市役所庁内などで私を見かけましたら、ぜひ気軽に声を掛けていただきたいと思います。呼び止めていただいて結構です。皆さんのお考えや思いを教えていただければと思います。

今月も頑張りましょう。どうぞ、よろしくお願いいたします。